

筑波研究学園都市交流協議会
平成 31 年新春講演会 講演概要

演題：「人工知能とその未来」

人工知能(AI)は以前より論理的推論など大人が得意とする知能に強みがあった。数年前より、深層学習などの発展により認識や運動に関わる子供の知能を急速に獲得してきた。今後はこの二種類の知能が融合することで、今まで以上に人の知的能力を広範に模倣できるようになるだろう。AI の開発レースは止まることはなく、それにより私たちの生活を豊かにする一方で人間社会に悪影響を及ぼす可能性もある。私達は、こうした影響を人類全体の利益と調和させるために協調的な努力をしてゆく必要がある。

講演者：



やまかわ ひろし
山川 宏 氏

株式会社ドワンゴ ドワンゴ人工知能研究所 所長
特定非営利活動法人 全脳アーキテクチャ・イニシアティブ
代表

【主要略歴】

1992 年東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程修了。工学博士。同年(株)富士通研究所入社。1994 年から 2000 年まで通産省 RWC プロジェクトに従事。現在、(株)ドワンゴ人工知能研究所所長。人工知能学会(汎用人工知能研究会主幹事)、電子情報通信学会、日本認知科学会、日本神経回路学会などの各学会員。専門は人工知能、特に、汎用人工知能、全脳アーキテクチャ、概念獲得、ニューロコンピューティング、意見集約技術など。産総研人工知能研究センター客員研究員、電気通信大学大学院客員教授、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員、東京大学医学部客員研究員就任、特定非営利活動法人全脳アーキテクチャイニシアティブ代表